



YUME いっぱい

よく考える子 しんせつな子 きたえる子

佐世保市立吉井北小学校

学校通信 6号

R03.05.25 (火)

文責 校長 堤 祐子



心を一つに！～学校と家庭と地域でつくり上げた運動会～

5月23日(日)、これ以上ない晴天の下、運動会を無事開催することができました。当日は元気に力いっぱい頑張ってくれた子供たちと、その子供たちや学校を支えようと朝早くから終わりの片付けまで頑張ってくださった保護者の皆様、そして、お休みにもかかわらずお越しくださり応援していただいた数多くの来賓の皆様方、そんな大勢の人々の気持ちが一つになってつくり上げた運動会ではなかったでしょうか。感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。

力いっぱいの姿で

練習中は好天に恵まれず、練習が十分でない運動会でしたので、表現や走などのいろんな場面で完成度が低かったのではないかと思います。一番の見どころは子供たちの「一生懸命に頑張る姿」だったと自負しております。

特に表現は時間がない中に工夫をして頑張っていました。何といても踊っている子供たちの笑顔が最高でした。精一杯頑張る、楽しんだからこそ出せる笑顔だったと思います。係の仕事も一生懸命でした。特に今年度係デビューの4年生は張り切っていました。5・6年生は自覚と責任をもってどの係も大きなトラブルなく確実に進めてくれました。演技は自分たちが楽しむことが一つの目標ですが、係の仕事は自分ではなく人のために頑張る仕事です。自分が楽しいだけでなく、人が喜んでくれることを自分の喜びとする経験でした。そして、それができたのは、ご家族や地域の方々の声援があったからです。この運動会の経験で一回りも二回りも大きく成長したことでしょう。



伝統を引き継ぐ～吉井音頭～

今年度はコロナ対策も一般化し、徹底されたということで、吉井音頭を復活させました。吉井の子供たちにぜひ引き継がせたい吉井の伝統芸能です。11日に吉井音頭保存会の方々に教えていただきました。1・2年生の子供たちは初めてでしたが見よう見まねで一生懸命踊っていました。その後、覚えていない子供たちの自主練習もあり…迎えた当日。保護者の皆様も来賓の皆様もたくさんの方々が一緒になって踊った風景は、忘れられないものとなりそうです。吉井の地域の力を見た思いでした。



吉井音頭

市瀬正生 作詞
深町一朗 作曲

一アー あの娘年頃 ナー
あの娘年頃 桜は見ごろ
御橋観音 春がすみソレ
さつまみんで築こじやないか※1
若い吉井の心意気 ※2

二アー 鮎は銀色ナー
鮎が銀色 流れはみどり
※1 ※2

三アー 甘くやさしく ナー
甘くやさしく 香りが招く
誰と行きましよいちご狩り
※1 ※2

四アー 昔しのべば ナー
昔しのべば 福井の遠跡
虫も啼きます 内裏山
※1 ※2

五アー 旅のつばめも ナー
旅のつばめも また来て泊まる
町にや繁昌の 灯がゆれる
※1 ※2

六アー ことしや豊作 ナー
ことしや豊作 朝露ふめば
牧の岳には 日が昇るソレ
さつまみんで築こじやないか
若い吉井の心意気

PTAの皆様、ありがとうございました

今年度 PTA 西田会長様をはじめ本部役員の方々を中心に、PTAの各部で分担していろいろなお手伝いをしていただきました。特に今回は新型コロナウイルス感染症対策を徹底しなければならないこと、以前借りていた旧農協跡地が駐車場として利用できないことなどから、役員の皆様で知恵を絞って、

- ・受付を設置し、観覧者全員に予防対策の確認をしてもらうこと
- ・駐車場所を係ごとに振り分け、駐車券を発行してスムーズに駐車してもらうこと

に取り組んでいただきました。事前の準備から当日のお世話まで、本当に大変だったことと思います。

また、競技中には準備係のお手伝いもしていただきました。人数が少ない子供たちですので、係も出番があると、残りの人数ではとても難しいところがあります。教職員も一人で2つの仕事を受け持っている者もいました。そんな中でのお手伝いは、まさに救世主でした。おかげさまで、子供たちも怪我無く、進行に影響することなく、無事に進めることができました。

本部役員の皆様のリーダーシップと保護者の皆様の行動力・団結力に、心よりお礼を申し上げます。



運動会で忙しかったって、自主学習頑張りましたよ！

先週は次の子供たちの自学ノートが終了しました。どれも工夫がある力作ぞろいです。職員室前廊下に置いてありますので、お越しの際は是非ご覧ください。

5年 西山 耀一郎さん(1冊目)

6年 山本 二胡さん(2冊目) 河野 実潤さん(3冊目！)

吉田 由埜さん(1冊目) 田代 菜々子さん(1冊目)

